

# 沖縄振興交付金事業推進費（内閣府政策統括官（沖縄政策担当）・沖縄振興局）

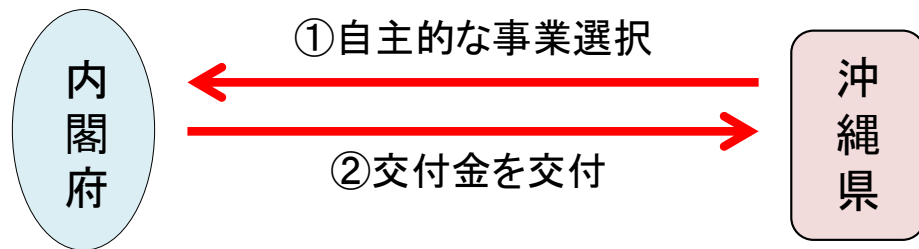
8年度予算額 736.4億円  
（7年度予算額 721.4億円）

- 沖縄の実情に即してよりの確かつ効果的に施策を展開するため、沖縄振興に資する事業を県が自主的な選択に基づいて実施できる一括交付金（平成24年度創設、沖縄振興特別措置法に明記）。
- 「沖縄振興特別推進交付金」と「沖縄振興公共投資交付金」に区分。

## 沖縄振興特別推進交付金 （ソフト交付金）

8年度予算額 346.6億円  
（7年度予算額 341.6億円）

沖縄振興に資するソフト事業などを対象とし、移し替えせずに内閣府で執行する沖縄独自の制度。



<交付率> 8/10

### <主な対象事業>

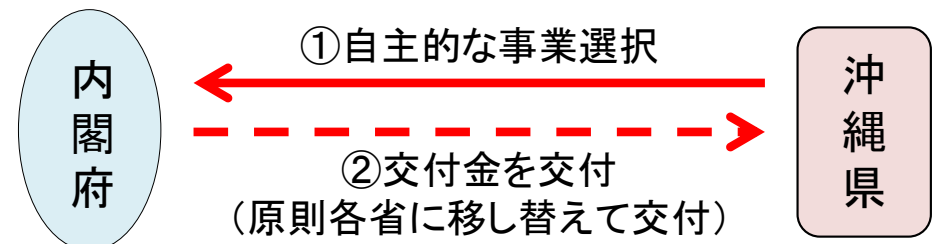
沖縄の自立的・戦略的発展に資するものなど、沖縄の特殊性に基因する事業

- ・ 観光の振興
- ・ 情報通信産業の振興
- ・ 農林水産業の振興
- ・ 雇用促進
- ・ 人材育成 など

## 沖縄振興公共投資交付金 （ハード交付金）

8年度予算額 389.8億円  
（7年度予算額 379.8億円）

各府省の地方公共団体向け投資補助金等のうち、沖縄振興に資するハード事業に係る補助金等の一部を一括交付金化。原則各省に移し替えて執行。



<交付率> 既存の高率補助を適用

### <主な対象事業>

- ・ 社会資本整備(国土交通省)
- ・ 農山漁村地域整備(農林水産省)
- ・ 学校施設環境改善(文部科学省)
- ・ 医療施設等施設整備(厚生労働省) など

# ソフト交付金の主な活用事業例

## 離島児童生徒支援センター整備事業【県】

- 高校のない離島出身者の経済的負担の軽減を図るため、沖縄本島に高校進学する生徒の寄宿舎と交流機能を併せ持つ施設を整備
- 総事業費：10.3億円（国費：8.2億円） ※H24～27年度
- H28年1月 開所（愛称：群星寮）



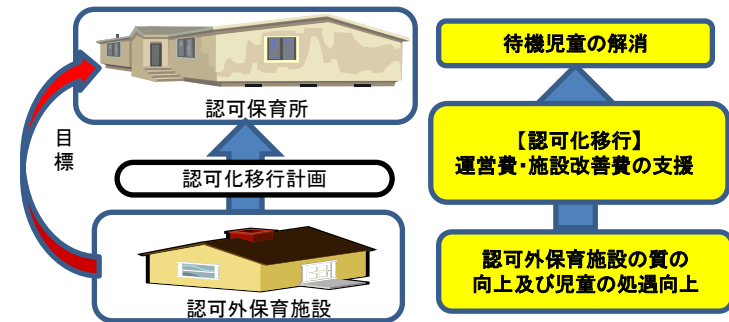
## オンライン双方向授業支援モデル事業【<sup>きただいとう</sup>北大東村】

- 離島における教育環境の格差を解消するため、村営塾を開講し、都市部と同様の学習環境を提供できるオンライン双方向授業を実施
- R7年度：1.5百万円（国費：1.2百万円） ※H25～継続中



## 認可外保育施設保育サービス向上事業【県】

- 認可外保育施設の認可化促進による施設の質の向上を図るための施設改善、経営指導、児童の処遇向上等の取り組みを行う市町村を支援
- R7年度：2.7億円（国費：2.2億円） ※H24～継続中



## 村立診療所人工透析施設整備事業【<sup>いえ</sup>伊江村】

- 離島であるため、本島に定期的に通う必要がある透析を必要とする患者の負担を軽減するための人工透析施設を整備
- 総事業費：4.9億円（国費：3.8億円） ※H24～25年度
- H26年4月 開所



# ハード交付金の主な活用事業例

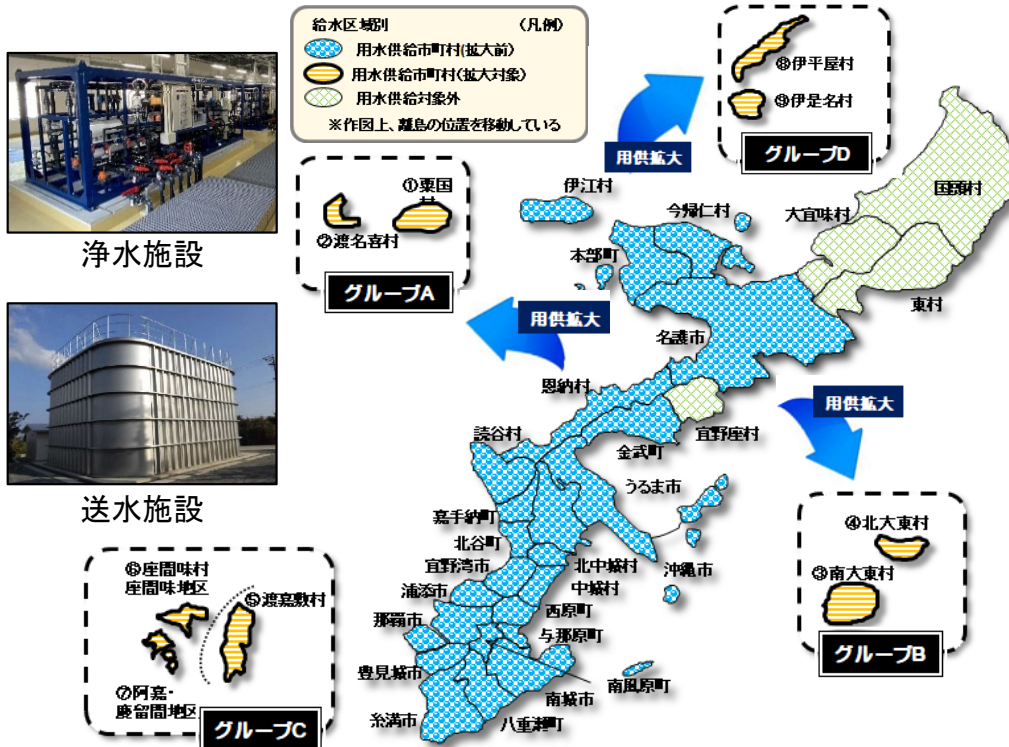
## 水道広域化施設整備事業

水源水質の悪化や制限給水、水道料金の高騰など、沖縄本島との地域間格差が大きい本島周辺離島8村の課題解消を図るため、県において、離島における水道施設の整備を行う。

これにより、水道サービスの向上を図り、離島の生活環境の整備に寄与する。

○ 令和8年度事業費 18億円（うち国費15億円）  
（令和7年度事業費 19億円（うち国費15億円））

○ 事業期間：平成28年度から令和10年度



## 沖縄都市モノレール輸送力増強事業

沖縄都市モノレールは開業から20年を経過し、定時・定速で安全性の高い公共交通機関として多くの皆様に親しまれている。今後も利用者の更なる増加が見込まれることから、引き続き、3両編成車両の製造及び新車両基地の整備に取り組み、利便性の向上及び輸送力の増強を図る。

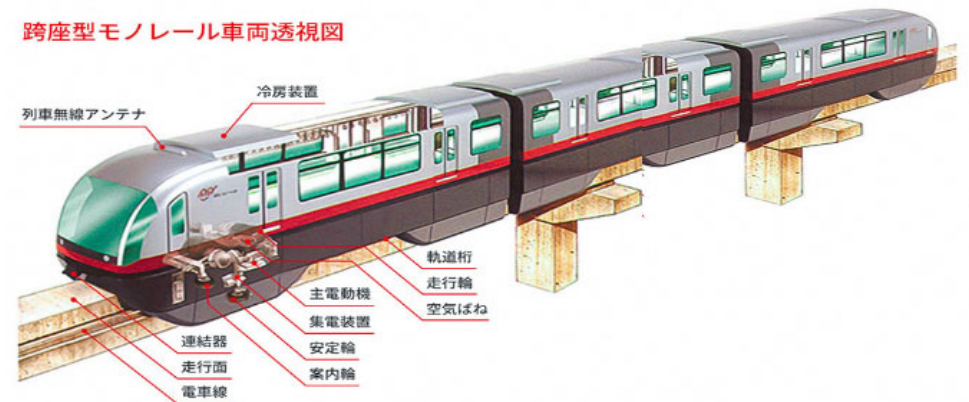
○ 令和8年度事業費 25億円（うち国費20億円）  
うち沖縄県 12.5億円（うち国費10億円）  
うち那覇市・浦添市 12.5億円（うち国費10億円）

（令和7年度事業費 65億円（うち国費52億円））  
うち沖縄県 34億円（うち国費27億円）  
うち那覇市・浦添市 31億円（うち国費25億円）

○ 事業期間：令和2年度から令和9年度

### 3両編成車両イメージ図

跨座型モノレール車両透視図

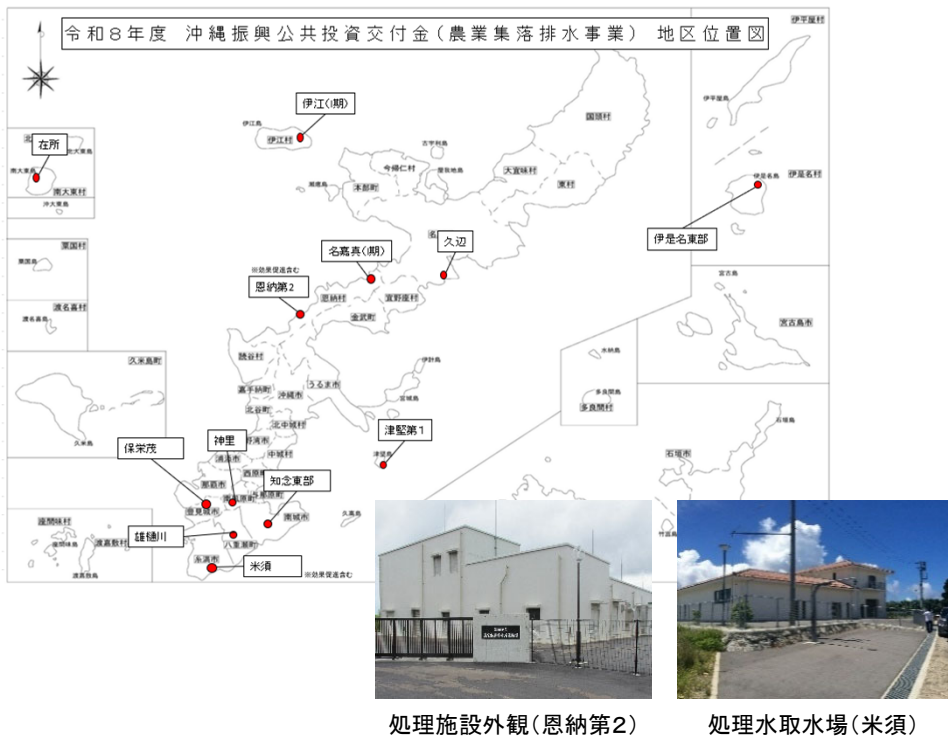


# ハード交付金の主な活用事業例

## 農業集落排水事業

農業集落地域における汚水等を処理する施設の整備を行う事業である。現在、恩納村（恩納第2地区）のほか、11地区で事業を実施しており、水質汚濁を防止し、農村地域の健全な水循環に資するとともに、処理水の農業用水への再利用や汚泥の農地還元を行うことにより、農業の特質を生かした環境負荷の少ない循環型社会の構築に寄与することが期待される。

- 令和8年度事業費 29億円（うち国費22億円）  
（令和7年度事業費 27億円（うち国費20億円））
- 事業期間：終期なし

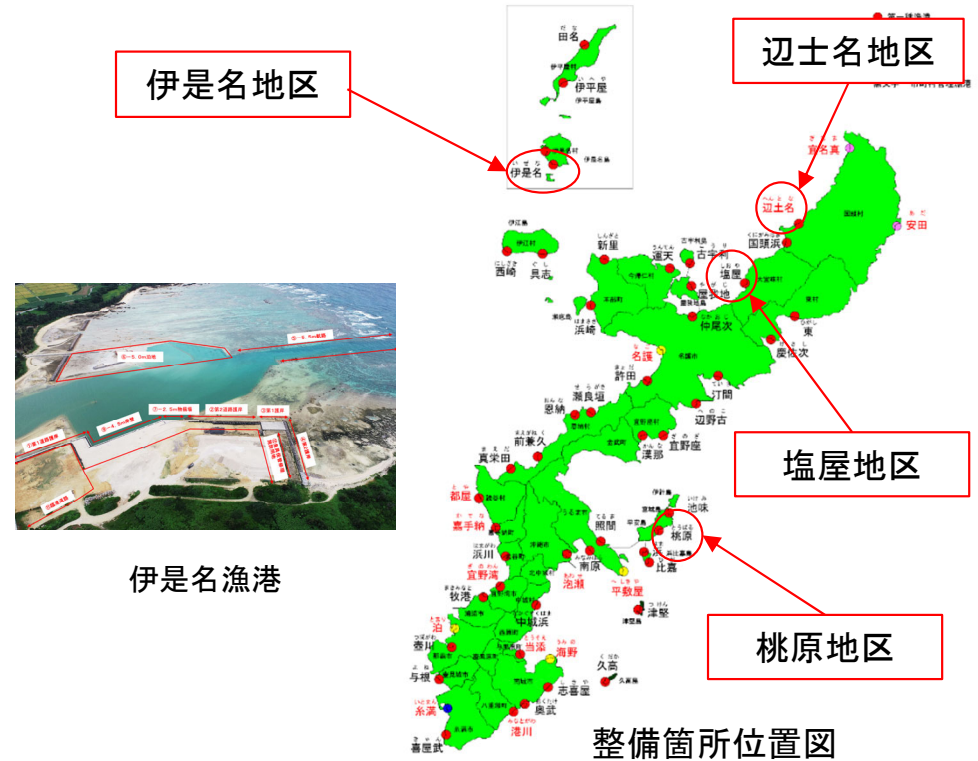


## 地域水産物供給基盤整備事業

地域における水産資源の維持及び増大並びに水産物の生産機能の強化、また離島における条件不利性の解消を図るため、漁港施設等の整備を行う。

これにより、不足している漁船の係留施設確保を図ると共に、漁業就労環境の改善、離島航路における就航率の改善が図られる。

- 令和8年度事業費 4.5億円（うち国費4億円）  
（令和7年度事業費 3.6億円（うち国費3.2億円））
- 事業期間：平成28年度から令和14年度



# ハード交付金の主な活用事業例

## 沖縄県立普天間高校危険改築事業

構造上危険な状態にある県立普天間高校校舎の改築を行うことで、安全で快適な学習環境の確保を図る。

- 令和8年度事業費 7.9億円（うち国費5.3億円）  
（令和7年度事業費 7.0億円（うち国費4.7億円））
- 事業期間：令和7年度から令和9年度

新校舎完成イメージ図



## 交通安全施設整備事業

交通の安全を確保する必要がある道路について、事故実態の調査・分析を行い、計画的かつ重点的に交通安全施設等整備事業を推進することにより、交通環境を改善し、交通事故防止と交通の円滑化を図る。

- 令和8年度事業費 0.7億円（うち国費0.4億円）  
（令和7年度事業費 0.7億円（うち国費0.4億円））
- 事業期間：令和8年度



# ハード交付金の主な活用事業例

## 沖縄医療施設等施設整備事業

北部医療圏の医師不足を抜本的に解消し、安定的かつ効率的で地域完結型の医療提供体制を構築するため、県立北部病院と北部地区医師会病院の統合による公立沖縄北部医療センターの整備に要する経費を補助する。

- 令和8年度事業費 21.3億円（うち国費16.0億円）  
（令和7年度事業費 13.1億円（うち国費 9.8億円））
- 事業期間：令和7年度から令和10年度

### 公立沖縄北部医療センター完成イメージ

